

## ア 各教科等における食に関する指導の関連図

食に関する指導については、給食の時間をはじめ学級活動や教科等の学習と関連づけて指導したり、横断的、総合的に指導するなどの工夫をすることにより、児童に「自ら健康を管理しよう」とする力を身に付けさせることができます。

### 体の健康

理科では…食材に使われる植物の種類や体のつくり、花の開花時期の学習などから、植物の成長などへの興味関心をもたせることができます。

家庭科では…調理実習では、体の成長に必要な3つの食品群をバランスよく組み合わせた料理を作ること、作る楽しさ、食べる喜びを体験することができます。

体育科では…病気の予防をするためには調和のとれた食事や運動、休養及び睡眠を行うことが大切であることを学び、給食の献立は体の成長を考えた献立になっていることをしらせることができます。

### 心の健康

道徳では…道徳教育は学校教育全体で進められるものであり、道徳の時間をはじめとして、各教科等の特質に応じて適切に指導を行わなければなりません。進めるに当たっては、豊かな体験や道徳的実践を充実させ、児童の内面に根ざした道徳性の育成がねらいとなります。友達や先生と会食する給食の時間は、道徳性の育成にとって重要な場と機会であり、道徳の時間と密接な関係があります。

- ・食事のマナー
- ・生命の大切さ
- ・自然の恵みや働く人への感謝の気持ち
- ・規則の遵守
- ・労働の尊さ

### 給食指導

多様な学習内容と給食の準備や会食、献立内容を結びつけて体験することでより効果的な指導を進めることができます。

### 社会性の涵養

社会科では…自分たちの地域が消費生活を通して他地域と深い関わりがあり、また、普段の食事が様々な歴史をもっていることを学習することによって、自分たちの食生活が歴史的・地理的に多くの人に支えられていることを学ぶことができます。また、献立内容の食品に関心をもたせることで、生産地や流通経路、生産の時期等について社会科の学習を振り返らせることができます。さらに、環境問題に発展させることも期待できます。

生活科では…自分が成長してきた背後には、多くの人の支えがあったことへの感謝の気持ちを養うことができるよう指導します。給食ができるまでには、たくさんの人が関わっていることを知り、支えてくれる人々に対して尊敬、感謝の気持ちを育てることができます。

### 自己管理能力の育成

特別活動では…学級活動では自分の食生活を振り返り、栄養面での偏りなどについて知り、問題解決に向けて主体的な活動を促すことができます。また、学校行事では、各教科等における知的理解の上に立った農作物の栽培、招待給食、バイキング給食など学習成果を総合的に発展させることができます。

体育科では…生活の仕方に関わって起こる病気は、主に食生活に関わっていることを知り、バランスのとれた食事の大切さを理解するとともに、正しい食生活を実践しようとする意欲をもたせることができます。

総合的な学習の時間では…食に関する課題を取り上げることで、教科の枠を越えた横断的、総合的な学習や、児童の興味関心に基づく学習を展開することで、教科等で身に付けた知識や技能が総合化され、生活に生きて働く力とすることが期待できます。